

## パスファインダー

「郷土の神社・お寺」を調べるには。

豊橋市中央図書館 2015.7

パスファインダーとは、あるテーマを調べるために役立つ資料を紹介した調べ方ガイドです。このパスファインダーは「郷土の寺社」を取り上げています。

【キーワード】 \*こんな言葉を組み合わせて情報を集めてみてください。

郷土 豊橋 三河 神社 寺 神主 僧

など

### 1 参考図書（ 百科事典・辞典・年鑑 ）

まずは参考図書を使って、おおまかな情報を手に入れましょう。

おおまかなことを理解してから、さらに詳しく調べていくのが基本です。

これらの資料は、児童室(1階)・ティーンズルーム(1階)・参考書コーナー(2階)・郷土資料コーナー(2階)にあります。

書 名	場 所	
総合百科事典ポプラディア 新訂版	児童室	03.1/ソ
ベスト教科事典	児童室	館内利用棚
学研ハイベスト教科事典	ティーンズ	03.1/ガ/勉強
原色ワイド図鑑	児童室	館内利用棚
愛知百科事典	郷土	A030/1
豊橋百科事典	郷土	A224/277

\* 背に「禁帯出」や「館内用」のシールがある本は貸出できません。

\* 必要があれば、2階でコピーしてください。(申し込みが必要です)

## 2 図書

\* 図書は、「日本十進分類法(NDC)」で分類された背ラベルの数字順に、棚に並べてあります。

### 歴史

歴史全体について書いた本でも神社やお寺は登場します。

書名	場所	
郷土ほりおこし 東三河の歴史	郷土・書庫	A220/38
とよはしの歴史	郷土・書庫	A224/214
豊橋市百年史	郷土・書庫	A224/288
豊橋の風景 歴史を語るものたち	郷土・書庫	A224/276
校区のあゆみ	郷土・書庫	A224/278
郷土豊橋を築いた先覚者たち	郷土・書庫	A280/76
豊橋の史跡と文化財	郷土・書庫	A292/321

### 神社

書名	場所	
豊橋市神社誌	郷土・書庫	A172/18
愛知の神社	書庫	A170/14

### お寺

書名	場所	
東海の100観音 ガイド	郷土・書庫	A180/13
愛知御朱印を求めて歩く札所めぐり 名古屋・尾張・三河ガイドブック	郷土	A180/22
東三河の百ヶ寺	郷土・書庫	A182/57

神社やお寺で取り上げた図書は郷土の全体を紹介したものです。「〇〇について調べたい」という具体的な目的があれば、そのキーワードで検索するか、職員に聞いてみてください。



### 3 文献目録

「〇〇に関する本には、どんな本があるのか」をまとめたものが目録です。  
図書館にない本も載っているので、リクエストして取り寄せましょう。

書名	場所	
新・どの本で調べるか	2階カウンター	R/02.8/シ
BOOK PAGE 本の年鑑	参考	R/025/ブ

インターネットサイト名	
Books.or.jp【本をさがす】	日本の出版社が取り扱っている本を探せます。
国際子ども図書館	国立図書館です。国内図書館の本が探せます。

### 4 新聞

図書館では、当日の新聞を1階で、過去の新聞を2階で見ることができます。  
また、新聞記事を検索できるデータベースもあります。  
2階カウンターで申し込んで、過去の新聞や、新聞記事検索を使いましょう。

### 5 インターネット

情報の新しさは、本よりもインターネットのほうが上です。ただし、インターネットサイトは簡単に作れるぶん、嘘や間違いも多いので注意しましょう。

サイト名	参考になるページ	
愛知エースネット	愛知の郷土史、 偉人、祭り・伝統産業	愛知県総合教育センターが教科別に 情報をまとめています。
ナビポ		子ども向けの事典「ポプラディア」の一 部が読めます。

## 6 調査に役立つ施設

図書館の本を使うほか、関係する施設に行って調べてみましょう。

\* 図書館では、ほかの市が持っている本を探して取り寄せることもできます。

施設名	
豊橋市中央図書館 【住所】豊橋市羽根井町 48 【電話番号】0532-31-3131	向山と大清水にも図書館はありますが、郷土の資料は中央館が一番多いです。
豊橋市二川宿本陣資料館 【住所】豊橋市二川町字中町 65 【電話番号】0532-41-8580	江戸時代の宿場町に関する資料などを見ることができます。
豊橋市美術博物館 【住所】豊橋市今橋町 3-1(豊橋公園内) 【電話番号】0532-51-2882	歴史的な資料をたくさん保存しています。
豊橋市民俗資料収蔵室【土・日公開】 【住所】豊橋市多米町滝ノ谷 34-1-1 【電話番号】0532-51-2882	昔の道具を保存しています。昔の人の生活を実感してみてください。

### ● 豊橋の神社と関連して・・・

神社は、祭りなど現代の生活に深く関わっています。他のテーマと結びつけて調べてみると、より深く知ることができるでしょう。

#### 【吉田神社】

吉田神社の祇園祭は、900年近く前から続いている歴史ある祭りです。毎年多くの手筒花火が揚がっています。

#### 【安久美神戸神明社】

2月に行われる鬼祭は、毎年多くの方が参加しています。

#### 【羽田八幡宮】

羽田八幡宮の神主だった羽田野敬雄は、境内に本を集めて「羽田八幡宮文庫」を作りました。現代の図書館のように、貸出もしていたそうです。